

第2号様式（第8条関係）

禁止行為の解除承認申請書

東京消防庁
四谷 消防署長 殿

申請者
住 所
電 話 ()
氏 名

火災予防条例第23条第1項の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けた
いので下記により申請します。

記

防 火 対 象 物	所 在 地	新宿区霞ヶ丘町4番1号	
	名 称	日本青年館ホール	
解除の承認 を受けよう とする場所 (指定場所 の 用 途)	<div><div><input type="checkbox"/> 劇場等</div><div><input type="checkbox"/> 飲食店等</div><div><input type="checkbox"/> 百貨店等</div><div><input type="checkbox"/> 屋内展示場</div><div><input type="checkbox"/> 映画スタジオ及びテレビスタジオ</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 地下街</div><div><input type="checkbox"/> 重要文化財等</div><div><input type="checkbox"/> 車両の停車場及び船舶・航空機の 発着場</div><div><input type="checkbox"/> ホテル等</div></div>		
	期 間	年 月 日から 年 月 日まで	
解除の承認 を受けよう とする行為	種 類	内 容	
	<input type="checkbox"/> 喫 煙		
	<input type="checkbox"/> 裸火使用		
	<input type="checkbox"/> 危険物品持込み		
※ 受 付 欄		※ 処 理 欄	

備考 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。

2 内容欄には、裸火使用については機器名、熱源、最大消費熱量、火災の大きさ等を、
危険物品持込みについては品名、成分、数量等をそれぞれ記入すること。

3 解除の承認を受けようとする場所の平面図のほか、必要な図書を添付すること。

4 ※欄には、記入しないこと。

(日本産業規格A列4番)

申請内容明細書

申請場所		1 階		
責任者			防火管理者	椎名 雅則
解除承認を受けようとする行為	概要			
	〔使用場所〕 使用場面 理由			
	内容			
	〔名称〕 使用量 成分 性状 取扱要領			
	行為者			
補足事項等				
火災予防上 講じた措置		<input type="checkbox"/> 消火器の設置〔__本 位置：__〕 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓の準備〔__2__口 位置：舞台 上手下手各1〕 <input type="checkbox"/> 消火担当者の配置〔__名 位置：__〕 <input type="checkbox"/> 消防計画に定める自主検査〔最新実施年月日：__〕 <input type="checkbox"/> 会場管理計画の作成 <input type="checkbox"/> 訓練の実施〔最新実施年月日：__〕 <input type="checkbox"/> 始業時、終業時の点検等〔担当者：__〕 <input type="checkbox"/> 承認行為のチェック〔実施者：__ 時期：__ 仕込終了時__〕 <input type="checkbox"/> 防災性能あり〔 <input type="checkbox"/> 幕 <input type="checkbox"/> 敷物 <input type="checkbox"/> 大道具 <input type="checkbox"/> その他（__）〕 <input type="checkbox"/> その他〔__〕		
<input type="checkbox"/> 欄は該当するものをレ印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。				

備考1 申請場所ごとに作成すること。

2 禁止行為を行う位置、消火器の設置位置等を明記した使用場所の図面を添付すること。
劇場等及びスタジオの場合は、禁止行為の位置、消火器等の設置位置、消火担当者の位置
周囲の状況（可燃物からの距離等）、床面の状況（材質、養生の方法等）、舞台上の人の
配置等を明記すること。

3 必要に応じて性能等に関する資料を添付すること。

四谷消防署長 殿

日本青年館ホール
防火管理責任者
氏名 椎名雅則

会場管理計画

ホールにおいて禁止行為解除承認を受けて催物を行う場合は、下記事項を守り火災予防ならびに人命安全につとめる。

記

第1. 防火管理対策

1 設置されている下記消防用設備等を適正に管理する。

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 消火器 | (5) 避難口誘導灯、通路誘導灯 |
| (2) 屋内消火栓 | (6) 排煙設備 |
| (3) スプリンクラー設備 | (7) 防火扉 |
| (4) 自動火災報知設備 | |

2 主催者に対し、下記事項を徹底させる。

- (1) 危険物品あるいは、裸火の持込量ならびに取り扱い方法は、承認どおりとする。
- (2) 持込幕類及び大道具は、防災処理済のものを使用する。
- (3) 危険物品付近に消火器を設置させる。

3 承認条件と異なる取り扱いをした場合は、直ちに主催者にその行為を中止させる。

4. その他

- (1) 通路、出入口、避難口付近には避難上障害となる物品を置かない。
- (2) 収容人員は、定員以下とする。(定員1249名)

第2. 自衛消防対策

公演中は、次の様に主催者を含めた自衛消防組織を編成する。

